

授業計画書

学部	風	科 コース	エアライン科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	L1	
科目名			航空業界基礎知識Ⅱ			講師名	今西 真悟	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	航空業界で14年間グランドハンドラーとして、マーシャリングや貨物搭載等のグランドハンドリング業務に従事。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> • 航空業界の歴史、現在、今後について学ぶ。 • 航空業界の現場で使われる専門用語について学ぶ。 • 就職活動に結び付けられる企業研究について学ぶ。 				授業形態：講義				
				<ul style="list-style-type: none"> • 座学はテキストや配布プリントに基づく講義形式を主とする。 • 視覚的な要素を多く取り入れ、理解を深めやすい環境作りに努める。 • 理解度は筆記試験で確認する。 				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション 前期振り返り		課題	10	授業の進め方等を把握する。 前期の振り返り。			
2	安全について				航空業界で発生した過去の事故等から、安全について理解を深める。			
3	ANAについて		課題	10	ANAの歴史とANA'S WAYについて学ぶ。			
4	JALについて		課題	5	JALの歴史とJALフィロソフィについて学ぶ。			
5	MCCについて		課題	5	MCC各社の特徴について学ぶ。			
6	企業研究プレゼンテーション		課題	5	グループ毎にテーマを決めて、企業研究を実施する。			
7	企業研究プレゼンテーション				グループ毎にテーマを決めて、企業研究を実施する。			
8	企業研究プレゼンテーション				7週目までに研究した内容を纏めて、プレゼンテーションの準備をする。			
9	企業研究プレゼンテーション				プレゼンテーションの準備をする。			
10	企業研究プレゼンテーション		実技	15	プレゼンテーション発表会。			
11	海外空港について①				海外空港の3レターや基礎知識について学ぶ。			
12	海外空港について②		筆記	10	海外空港の3レターや基礎知識について学ぶ。			
13	試験WEEK		筆記	40	持ち込み：不可			
14	海外空港について③				海外空港の3レターや基礎知識について学ぶ。			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試については以下のとおりとする。 課題……翌週授業までに提出すること。 実技……母数減らしとする。 筆記……別途実施日を案内する。					A 80点以上		配布プリント	
					B 70点以上			
C 60点以上								
D 59点以下								

授業計画書

学部	昼	科 コース	エアライン	年次	1	クラス	L1A / L1B	
時間数			2	単位数	2	区分	必修	専門科目
科目名			エアライン英会話Ⅱ			講師名	上田 綾子	
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 基本的な文法ミスがない、英会話面接対応力を身につける。 2. 英会話面接において、的確かつスムーズに対応できる英語力を身につける。					授業形態：講義 ・配布プリントを中心に接客英会話の表現を学ぶ。 ・空港や機内でよく使う接客英会話を、ロールプレイを通して体験する。			
実施日 回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記 事項
				内容	点数			
1	10/4	GSが使う英会話～check-in①				check-inの際にGSがよく使う英会話に慣れましょう。		
2	10/11	GSが使う英会話～check-in②				//		
3	10/18	GSが使う英会話～check-in③				//		
4	10/25	GSが使う英会話～baggage claim		筆記	35	手荷物受取の際に交わされる英会話について学びましょう。		
5	11/1	GSが使う英会話～アナウンス①				搭乗案内の際にGSが使うアナウンスについて学びましょう。		
6	11/8	GSが使う英会話～アナウンス②				//		
7	11/15	CAが使う英会話～boarding①				搭乗中にCAがよく使う英会話について慣れましょう。		
8	11/29	CAが使う英会話～boarding②		筆記	35	//		
9	12/6	CAが使う英会話～出発準備①				出発時・離陸前のCAが使う英会話を学びましょう。		
10	1/17	CAが使う英会話～巡行中①				サービスでCAが使う英会話を学び、使ってみましょう。		
11	1/24	CAが使う英会話～巡行中②		実技	30	//		
12	1/31	CAが使う英会話～inflight info				機内でお客様と交わされる英会話について慣れましょう。		
13	試験WEEK					実施せず		
14	2/14	後期振り返り				振り返り、質疑応答		
テスト・追試詳細						達成度評価		使用教材
授業内テストにより評価 <授業内テスト3回(100点満点)> ・第4回目授業…35点 ・第8回目授業…35点 ・第11回目授業…30点 合計100点満点 追試日時については後日連絡						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		授業内配布プリント

☆追試の流れ☆

- ①追試受験資格者については、学生便覧を確認してください。
- ②欠席に伴う書類(欠席・公欠届/延着証明書/貴社訪問証明書)を学生カウンターに提出する。
 ※提出期日:欠席最終日翌日より3日以内(土日祝除く)
 ※筆記試験・実技試験・課題提出・母数減らし・チーム点評価、全てにおいて上記の書類提出が必要。
- ③提出した書類の承認後、撮影をし担当講師に提示し、追試日を確認する。
- ④追試を受験する。

※試験WEEK内の追試(筆記・課題)については、試験WEEK期間内に実施をする。(詳細は後日案内)

授業計画書

学部	昼	科 コース	エアライン	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	L	
科目名			航空業界筆記試験対策Ⅱ			講師名	阿比子美由紀	
担当講師の実務経歴				実務経歴	大手通信会社にて3年間、設計担当等に従事。塾講師、家庭教師などを経て、ウォーキング・立居振舞い講師5年。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
・航空業界に必要な筆記試験に対応できる基礎能力を身につける。 ・一般常識、時事問題などを通して社会人として社会に興味を持ち、意識向上をはかる。					授業形態：講義			
					・就職試験における第一関門である一般常識問題を、言語分野、非言語分野、時事問題などの問題練習などにより実力を養成する。			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
				内容	点数			
1	オリエンテーションと基礎問題					授業の進め方と筆記試験対策		
2	言語分野と非言語分野					問題の理解と習熟		
3	言語分野と非言語分野					問題の理解と習熟		
4	言語分野と非言語分野					問題の理解と習熟		
5	筆記試験と言語分野			筆記	15	言語分野の問題に取り組む		
6	言語分野と非言語分野					問題の理解と習熟		
7	言語分野と非言語分野					問題の理解と習熟		
8	言語分野と非言語分野					問題の理解と習熟		
9	筆記試験と言語分野			筆記	20	言語分野の問題に取り組む		
10	言語分野と非言語分野					問題の理解と習熟		
11	言語分野と非言語分野					問題の理解と習熟		
12	言語分野と非言語分野			課題	15	課題作成		
13	試験WEEK					持ち込み：不可		
14	まとめ					質疑応答とまとめ		
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細						達成度評価		使用教材
11/18 筆記15点+2/11 筆記20点2/3 課題作成15点<課題提出>公欠の場合、母数減らして評価。						A 80点以上	テキストはありません。授業内にてプリントを配布します。	
						B 70点以上		
						C 60点以上		
						D 59点以下		

授業計画書

学部	風	科 コース	専門科目	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	L1/L2/V2/C	
科目名			TOEIC L&R			講師名	吉田 美樹	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	航空会社国際線乗務歴 18年 英語講師歴 6年				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
TOEICの問題形式、特徴、頻出トピック、頻出フレーズ・語彙を習得し、スコアアップを目指す。				授業形態：講義 テキストにそって、基礎、練習問題、TOEICテスト形式問題へと進める。 単語テストにより語彙の強化を図る。				
				実施回数	授業スケジュール	授業内テスト 内容	点数	各回の到達目標
1	オリエンテーション							
2	Unit6 ①		単語テスト	10	L：依頼／提案／申し出 R：手紙・Eメール			
3	Unit6 ②		単語テスト	10	L：依頼／提案／申し出 R：手紙・Eメール			
4	Unit7 ①		単語テスト	10	L：電話での会話 R：代名詞・関係代名詞			
5	Unit7 ②		単語テスト	10	L：電話での会話 R：代名詞・関係代名詞			
6	Unit8 ①		単語テスト	10	L：ラジオ放送 R：接続詞・前置詞			
7	Unit8 ②		単語テスト	10	L：ラジオ放送 R：接続詞・前置詞			
8	Unit9 ①		単語テスト	10	L：Yes/No疑問文 R：ダブルパッセージ			
9	Unit9 ②		単語テスト	10	L：Yes/No疑問文 R：ダブルパッセージ			
10	Unit10 ①				L：オフィスでの会話 R：Part5の復習			
11	Unit10 ②		単語テスト	10	L：オフィスでの会話 R：Part5の復習			
12	Unit13		単語テスト	10	L：Part1、2の復習 R：時勢・代名詞・語彙問題			
13	試験WEEK				50	持ち込み：		
14	まとめ				振り返りとまとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細				達成度評価		使用教材		
単語テスト 各10点 計100点を50点満点に換算 筆記テスト 50点満点 【追試詳細】 単語テスト…授業内、前後に実施 筆記テスト…試験WEEK内に実施				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		Mastery Drills for the TOEIC L&R Test 公式問題で学ぶボキャブラリー 追加プリント		

授業計画書

学部	風	科 コース	エアライン科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	L1	
科目名			エアライン実務			講師名	伊藤可奈/谷山紗恵子	
担当講師の実務経験				実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>・エアライン業界と就職試験に必要なスキル <言葉遣い、立ち居振る舞い、コミュニケーション能力>を身につける。 ・スキルコンテストを通し、課題を見つけ今後に活かす</p> <p>※実技試験で11月29日コンテストへの出場者を選抜 ⇒その中から東京での本選出場者を決める</p>					<p>授業形態：講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識を学ぶと共に、ロールプレイや実践練習を取り入れながら授業を進める。 ・海外ゲストへの対応を想定し、英語での表現も学ぶ。 			
実施回数	授業スケジュール			授業内テスト		各回の到達目標		特記事項
			内容	点数				
1	オリエンテーション					授業・スキルコンテストの説明		伊藤
2	サービスについて学ぶ①					CAケーススタディ		伊藤
3	サービスについて学ぶ②			実技	15	CAケーススタディ		伊藤
4	サービスについて学ぶ③					GSケーススタディ		谷山
5	サービスについて学ぶ④					GSケーススタディ		谷山
6	サービスについて学ぶ⑤			実技	15	GSケーススタディ		谷山
7	スキルコンテスト選抜			実技	15	コンテスト出場者選抜		伊藤/谷山
8	大阪校スキルコンテスト			実技	10	コンテスト、運営		伊藤
9	振り返り					実技・コンテストのフィードバック		伊藤
10	サービスについて学ぶ⑥					GSの英語表現を学ぶ		谷山
11	サービスについて学ぶ⑦			実技	15	GSの英語表現を学ぶ		谷山
12	サービスについて学ぶ⑧			実技	15	CAの英語表現を学ぶ		伊藤
13	試験WEEK			なし		持ち込み：		
14	サービスについて学ぶ⑨、まとめ			実技	15	CAの英語表現を学ぶ、復習		伊藤
15	総まとめおよび各種行事					これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。		
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
下記日程の追試は母数減らし対応 11/15 実技（コンテスト選抜） 11/29 実技（コンテスト出場・運営） 2/14 実技					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		・プリント	

授業計画書

学部	昼	科 コース	エアライン科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	L1	
科目名			エアライン端末オペレーション			講師名	玉田 瑠美子	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	(株)JALナビアで予約案内業務、社内教育担当として13年間勤務。大阪地区マイレージ予約導入、インターネットヘルプデスク開設を担当。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
前期で学習した国内線基礎知識を踏まえ、後期は国際線の必要基礎知識から運賃を学びます。旅行業界で求められる即戦力となるスキルを身に付けます。資格面では「AXESSオペレーションスペシャリスト検定2級」合格を目指します。				授業形態：講義 教科書・早見表・練習問題を活用して、知識と操作技術を習得します。専門的な予約業務知識を定着させながら、運賃やお客様の希望をしっかりと聞き取り対応できるように実践的な現場を想定しながら授業を進めていきます。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	オリエンテーション・国際PNR作成				国内線との違いを含め国際線画面を説明			
2	基礎知識				国際線基礎知識から各種コード検索			
3	空席照会				空席照会画面と条件検索入力を理解			
4	空席照会からの予約				直行便・乗り継ぎ便の予約方法を理解			
5	旅客データの入力と修正				ハボン式ローマ字・連絡先・申込者入力			
6	PNR作成				PNR作成～完了までの流れを理解			
7	PNR抽出と旅程変更		実技	50	PNR抽出後の予約コードの変化			
8	便名予約・アランク（地上交通機関）				アランク含むPNR作成			
9	スケジュール照会・便の詳細				飛行時間や距離など便の詳細画面の見方			
10	運賃				運賃計算画面とOFCタリフの見方			
11	オペレーション							
12	総復習		実技	50				
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	検定対策				過去検定問題演習			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
「授業内テストにより評価」 試験日：11/20・1/29・ 各50点満点 25分「追試」次週授業内に実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		国際線予約運賃 がレゾンス株 AXESS操作早見表	

授業計画書

学部	風	科 コース	エアライン科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	L1	
科目名			面接対策 I			講師名	伊藤可奈/上田綾子	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	伊藤：外資系航空会社で5年間、客室乗務員として勤務。その後ホテルの宿泊部で2年間勤務。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
面接・グループディスカッションの実践により内定に繋げる対策授業 個性を生かしたプレゼンテーション能力の構築				授業形態：講義 ・グループディスカッションや面接練習を通しプレゼン能力の底上げをはかる ・就職活動に必要なビジネスマナーを身に付ける				
				実施回数	授業スケジュール	授業内テスト 内容	点数	各回の到達目標
1	オリエンテーション	課題	10	授業の意味と就職活動の流れを理解する				
2	面接の種類とマナー			言葉遣いや面接時の注意事項				
3	自己紹介・自己PR①	実技	15	アイスブレイク・自己紹介				
4	自己紹介・自己PR②			自己PRについて				
5	自己紹介・自己PR③	課題	15	自己PRについて				
6	グループディスカッション①			ロールプレイングにて実践				
7	グループディスカッション②	実技	15	ロールプレイングにて実践				
8	志望動機①			企業研究・志望動機について				
9	志望動機②			企業研究・志望動機について				
10	グループ面接①	課題	15	ロールプレイングにて実践				
11	グループ面接②	実技	15	ロールプレイングにて実践				
12	グループ面接③	実技	15	ロールプレイングにて実践				
13	試験WEEK			持ち込み：				
14	グループ面接④			ロールプレイングにて実践				
15	総まとめおよび各種行事			これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。				
テスト・追試詳細				達成度評価		使用教材		
10/2 課題：前期提出物 10/23 実技：アイスブレイク、自己紹介 11/6 課題：自己PR提出 11/20 実技：グループディスカッション 1/15 課題：志望動機提出 1/22 実技：面接ロールプレイ 1/29 実技：面接ロールプレイ ※実技試験の追試は母数減らし対応				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職ノート、プリント		

授業計画書

学部	風	科 コース	エアライン科	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	Q1	
科目名			Cultural Training			講師名	郡 則子	
担当講師の実務経験		○	実務経験	当校において、日本文化や伝統、日本のマナー等について9年間指導に従事。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 茶道を通して季節感を大切に、他者への思いやりを形にすることを学ぶ。 ・ 茶道の流れを学び、基礎を身につける。 ・ 一座建立、一期一会の心を知り盆略点前の習得を目指す。 ・ 簡単な英語での言い回しを覚えて、海外に日本の文化を紹介できるようにする。 ・ 近隣諸国の文化や伝統を学び、理解を深める。 					授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイングを中心にお茶室での立ち居振る舞いを身につける。 ・ 割り稽古を通してお道具の名前を知り、毎回何度も練習を繰り返して使い方を学ぶ。 (和室使用につき、靴下を持参してください) ・ 7週目以降についてはグループワークを中心に実施する。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	お茶を体験する 茶道の基礎 立ち居振る舞い 襦・帛紗				お茶を点ててみる お茶お菓子の頂き方 襦の開け閉め、帛紗扱い、懐中の仕方			2BJP
2	お茶の心 お茶の歴史 茶道具 立ち居振る舞い お辞儀 歩き方		筆記①	10	お茶の歴史と利休の教え 茶道具の知識 茶室での動作を身につける 帛紗扱い			2BJP
3	割り稽古 帛紗の扱い方 棗・茶杓を清める				帛紗のたたみ方、さばき方の復習 棗・茶杓の清め方を学ぶ			2BJP
4	割り稽古 茶筌通し 茶巾をたたみ茶碗を清める		筆記②	10	茶筌通しを身につける 茶巾の扱い方 茶碗の清め方			2BJP
5	盆略点前 3～4の復習 お点前(練習)		筆記③	10	割り稽古で学んだことを通して応用練習 盆略点前をやる			2BJP
6	立ち居振る舞い 床の拝見(実技) 薄茶点前(講師)(実技)		実技①	20	床のしつらえを知り拝見の仕方を学ぶ 薄茶点前の流れを知る 盆略点前総復習			2BJP
7	オリエンテーション 日本の文化について		課題①	10	7週目以降の進め方等を把握する。 グループ毎にテーマを決める。			1401
8	日本の文化について				グループ毎のテーマについて調べる。			1401
9	日本の文化について		課題②	10	7・8週目に調べた内容を纏めてレポートを 完成させる。			1401
10	近隣諸国の文化について				グループ毎にテーマを決め、調べる。			1401
11	近隣諸国の文化について		課題③	10	10週目に調べた内容をレポートに纏め、プ レゼンテーションの準備をする。			1401
12	近隣諸国の文化について		実技②	10	プレゼンテーションの準備。			1401
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	近隣諸国の文化について		実技③	10	プレゼンテーション。			1401
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種 行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試については以下のとおりとする。 (書類の提出は必要です。) 筆記……別途実施日を案内する。 課題……翌週の授業までに提出すること。 実技……母数減らしとする。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	科 コース	エアライン鉄道サービス	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数		30		単位数	2	クラス	O/Q	
科目名			セルフスタイリング			講師名	阿比子美由紀	
担当講師の実務経歴			実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>・社会人として必要な知識を知るとともに、視野を将来に広げ、毎日の生活を見直し、個性を表現する感性を磨く。</p>					<p>授業形態：講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要な一般教養を身につけ、将来に役立てられるようになる。 ・社会人としてふさわしい立居振舞いを身につけ、健康的な生活のための知識を身につけ、実践を行う。 			
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標			特記事項
			内容	点数				
1	オリエンテーション				社会人として備えるべき知識			
2	健康的な生活について				食や生活について見直す			
3	健康的な生活について				姿勢と歩き方、日常に生かす			
4	姿勢と歩き方/将来のプラン		実技	15	将来の夢とシュミレーション			
5	筆記試験とエクササイズ		筆記	20	健康維持について			
6	一般常識問題				地理			
7	一般常識問題				問題を解く			
8	言語分野と非言語分野				問題を解く			
9	言語分野と非言語分野				問題を解く			
10	言語分野と非言語分野				問題を解く			
11	言語分野と非言語分野				問題を解く			
12	課題作成		課題	15	まとめの課題			
13	試験WEEK				持ち込み：不可			
14	まとめ				発表			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
実技試験・課題提出について公欠の場合は母数減らしにて評価					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		<p>テキストはありません。</p> <p>授業内にてプリントを配布します。</p>	

授業計画書

学部	風	科 コース	鉄道サービス科 エアライン科	年次	2	区分	必修	専門科目
総時間数		30		単位数	2	クラス	O/Q	
科目名			マーケット研究			講師名	小澤 和哉	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	旅行業界に11年間勤務。 外国籍アウトバウンド手配・海外旅行企画・手配・販売・営業として旅行業務全般を担当。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> ・旅行の目的となるマーケットについて知識を習得する ・幅広い客層の様々な目的に対応できる広い分野の教養を身に付ける ・11/8(金)に世界遺産・吉野へのFWを実施(朝7:00~18:30予定)アルバイト等の予定を調整して 				授業形態：講義 各分野のプロや講師を招き、観光業界のマーケットについて知識を深める。 ※現役の講師を手配しているため、仕事等の関係で授業スケジュールが変更となる場合があります。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション ゴルフマナーを学ぶ		課題	10	授業の進め方等を学ぶ。 ゴルフをする際のマナーを学ぶ。			
2	知っておきたいお金のこと		課題	10	お金についての知識を深める。			
3	SNSから学ぶ観光地理		課題	10	SNSに掲載された観光地について知識を深める。			
4	登山とトレッキングマーケット		課題	5	登山とトレッキングに必要な知識を学び、フィールドワークに向けた準備を行う。			
5	写真撮影を学ぶ		課題	10	写真撮影の基礎から応用を学ぶ。 ※カメラを持参ください			
6	世界遺産吉野山登山FW		課題	15	世界遺産吉野山の魅力と登山についての知識をFWを通して学ぶ。			
7	オシャレなスマホ活用術				スマホで撮影する際のポイントや技術を学ぶ。			
8	ライフプランニング		課題	10	社会保険や税金、将来必要になるお金について学ぶ。			
9	ラスベガスの楽しみ方		課題	10	ラスベガスの楽しみ方について学ぶ。			
10	B級グルメについて 宴会マナーについて		課題	10	日本全国のB級グルメと、宴会時のマナーについて学ぶ。			
11	IRとカジノ演習①		筆記	10	IRの基礎を学び、知識を深める。			
12	IRとカジノ演習②				IRについて学び、実際に体験する事で、カジノについて知識を深める			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	(休講)							
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試については以下のとおりとする。 課題……母数減らしとする。 筆記……別途実施日を案内する。 ※いずれも申請は必要					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント	

授業計画書

学部	夜	科 コース	専門科目	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	LA1/LA2/BA3/HA2	
科目名			TOEIC L&R II			講師名	吉田 美樹	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	航空会社国際線乗務歴 18年 英語講師歴 6年				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
TOEICの問題形式、特徴、頻出トピック、頻出フレーズ・語彙を習得し、スコアアップを目指す。				授業形態：講義 テキストにそって、基礎、練習問題、TOEICテスト形式問題へと進める。 単語テストにより語彙の強化を図る。				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション							
2	Unit6 ①		単語テスト	5	L：依頼／提案／申し出 R：手紙・Eメール			
3	Unit6 ②		単語テスト	5	L：依頼／提案／申し出 R：手紙・Eメール			
4	Unit7 ①		単語テスト	5	L：電話での会話 R：代名詞・関係代名詞			
5	Unit7 ②		単語テスト	5	L：電話での会話 R：代名詞・関係代名詞			
6	Unit8 ①		単語テスト	5	L：ラジオ放送 R：接続詞・前置詞			
7	Unit8 ②		単語テスト	5	L：ラジオ放送 R：接続詞・前置詞			
8	Unit9 ①		単語テスト	5	L：Yes/No疑問文 R：ダブルパッセージ			
9	Unit9 ②		単語テスト	5	L：Yes/No疑問文 R：ダブルパッセージ			
10	Unit10 ①				L：オフィスでの会話 R：Part5の復習			
11	Unit10 ②		単語テスト	5	L：オフィスでの会話 R：Part5の復習			
12	Unit13		単語テスト	5	L：Part 1、2の復習 R：時勢・代名詞・語彙問題			
13	試験WEEK			50	持ち込み：			
14	まとめ				振り返りとまとめ			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価	使用教材		
単語テスト 各5点 50点満点 筆記テスト 50点満点 【追試詳細】 単語テスト…授業内、前後に実施 筆記テスト…試験WEEK内に実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	Mastery Drills for the TOEIC L&R Test 公式問題で学ぶボキャブラリー 追加プリント		

授業計画書

学部	夜	科 コース	エアライン科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数			30	単位数	2	クラス	LA1	
科目名			エアライン端末オペレーションⅡ			講師名	北川 庸子	
担当講師の実務経験		○	実務経歴	旅行会社で8年間勤務。カウンター、航空券予約、渡航手続きなど担当。現在は専門学校で航空予約端末を指導し14年目。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<p>前期で学習した国内線基礎知識を踏まえ、後期は国際線の必要基礎知識から運賃を学びます。旅行業界・エアライン業界で求められる即戦力となるスキルを身に付けます。資格面では「AXESSオペレーションスペシャリスト検定2級」合格を目指します。</p>				<p>授業形態：講義</p> <p>教科書・早見表・練習問題を活用して、知識と操作技術を習得します。専門的な予約業務知識を定着させながら、運賃やお客様の希望をしっかりと聞き取り対応できるように実践的な現場を想定しながら授業を進めていきます。</p>				
				実施回数	授業スケジュール	授業内テスト 内容	点数	各回の到達目標
1	オリエンテーション・基礎知識				国際線基礎知識から各種コード検索			
2	空席照会				空席照会画面と条件検索入力を理解			
3	空席照会からの予約				直行便・乗り継ぎ便の予約方法を理解			
4	旅客データの入力と修正				へボン式ローマ字・連絡先・申込者入力			
5	PNR作成の流れ・PNR作成①				PNR作成～完了までの流れを理解			
6	PNR作成②・PNR抽出				PNR抽出後の予約コードの変化			
7	スケジュール照会・便の詳細	実技	50		飛行時間や距離など便の詳細画面の見方			
8	便名予約・アランク（地上交通機関）				アランク含むPNR作成			
9	運賃・オペレーション				運賃計算画面とOFCタリフの見方			
10	総復習				国際線2級範囲の総復習			
11	検定対策				過去検定問題演習			
12	検定対策	実技	50		過去検定問題演習			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	検定対策				過去検定問題演習			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細				達成度評価		使用教材		
「授業内テストにより評価」 試験日：11/15・1/31・ 各50点満点 25分「追試」次週授業内に実施				<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		<p>国際線予約運賃 がレーション料 AXESS操作早見表</p>		

授業計画書

学部	夜	科 コース	エアライン科	年次	1	区分	必修	専門科目
総時間数		15		単位数	1	クラス	LA1	
科目名			面接対策 I			講師名	橋本 拓也	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴	当校において就職活動の指導に5年間従事。				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> • 面接やグループディスカッションの実践により内定につなげる。 • 一人一人の個性を生かしたプレゼンテーション能力を身に付ける。 • 面接試験を想定したビジネスマナーや身だしなみを身に付ける。 				授業形態：講義 <ul style="list-style-type: none"> • 各項目のポイントについては講義形式とする。 • 面接やグループディスカッションについてはロールプレイング形式とする。 				
実施回数	授業スケジュール		授業内テスト		各回の到達目標	特記事項		
			内容	点数				
1	オリエンテーション				授業の内容や進め方を理解する。			
2	GRP面接				GRP面接の形式やマナーについて学ぶ。			
3	GRP面接		実技	10	ロールプレイングから個々の課題を把握する。			
4	自己PR				相手に伝わる話し方を身に付ける。			
5	自己PR		実技	10	相手に伝わる話し方を身に付ける。			
6	グループディスカッション		実技	10	グループディスカッションの形式やマナーについて学ぶ。			
7	グループディスカッション		実技	10	グループディスカッションの実践。			
8	志望動機				相手に伝わる話し方を身に付ける。			
9	志望動機		実技	10	相手に伝わる話し方を身に付ける。			
10	GRP面接		実技	10	就活本番を想定したロールプレイング。			
11	GRP面接		実技	10	就活本番を想定したロールプレイング。			
12	GRP面接		実技	10	就活本番を想定したロールプレイング。			
13	試験WEEK				持ち込み：			
14	GRP面接/振り返り				後期の振り返り			
15	総まとめおよび各種行事				これまでの総復習および就職セミナー等各種行事の準備を行う。			
テスト・追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試については母数減らしとする。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職ノート	